

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	65%	自校A B層の割合	60%
令和5年度の成果	自校A B層の割合	58%	自校A B層の割合	51%

目標達成に向けた取組

3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> ■算数科の授業を中心とした、問題解決型の授業の定着、推進 ■校内研究と学力向上をタイアップし、児童に対して具体的かつ、効果的な指導を行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ドリルタイム等を活用し四則計算力の向上 ■放課後補習教室の戦略的活用 	<ul style="list-style-type: none"> ■家庭学習の定着に向けた宿題の実施方法の改善 ■江戸川っ子study week!を通じたデジタルドリルの活用
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> ■C、D層の学び方を改善するために、実物投影機等のICT機器を活用した、授業のユニバーサルデザイン化をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■多様な児童が放課後補習教室に参加できるような態勢を整え、効果的な指導を行う。また、CD層に対しては個別の支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■児童の実態に応じた家庭学習を行えるように個人面談や保護者会で情報提供を行い、家庭と連携を図る。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ■児童アンケートにおいて「算数の授業でできたり、わかったりするようになった。」と回答している児童が75%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ■東京ベーシックドリル、江戸川区学力定着度調査8割達成者85%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ■児童アンケートにおいて「学校の授業時間以外で、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり30分以上勉強している」と回答している児童が90%以上